

- 諏訪市の山林は東山と西山に分かれており、特に東山は整備が遅れている状態
- 里山付近では急傾斜地が多く土砂災害につながる恐れがある
- 東山の里山にて急傾斜地等災害防止も含めたうえで林業経営に適さない森林から整備を実施

□ 事業内容

四賀細久保地区の森林整備を計画・実施

- ・ 森林調査・測量
 - ・ 間伐を主体に除伐等を組合せて施業を実施
- 【事業費】10,438千円（うち譲与税10,438千円）
- 【実績】対象面積 9.16ha

□ 取組の背景

- ・ 四賀地区の里山を中心に、景観や支障木等を考慮したうえで、市民の方へアピールできる場所として計画
- ・ 森林整備が遅れている東山地区において計画及び整備を進めている



（地権者説明会）



（細久保地区整備前）



（細久保地区整備後）

□ 工夫・留意した点

- ・ 調査の結果から間伐を主体とし除伐と集積を組合わせた基本的な整備を導入
- ・ 整備地が住居付近の里山であるため、特に集積材等の安全と景観に配慮した

□ 取組の効果

- ・ 土砂災害の防止効果が期待でき、景観が向上した
- ・ 整備後の状況を見た地権者から高評価を受けた

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：22,530千円		②私有林人工林面積（※1）：3,011ha	
③林野率（※1）：69.2%	④人口（※2）：48,729人	⑤林業就業者数（※2）：22人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より